

Ⅱ 苦情の現状

Ⅱ 苦情の現状

1. 苦情件数とその推移

令和6年度に受け付けた苦情は80件であった。

2. 種類別苦情件数

典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関する苦情件数を種類別にみると、大気汚染 1件(1.3%)、水質汚濁 6件(7.5%)、騒音 29件(36.3%)、悪臭 38件(47.5%)、その他 6件(7.5%)となっている(土壌汚染、振動、地盤沈下は0件)。

公害ごとの苦情処理件数の推移をみると、悪臭に関する苦情が最も多く、その内訳は野焼きの煙や畜舎の臭い等である。

騒音に関する苦情が続いて多くなっており、工場等からの作業騒音、建設工事に伴う解体騒音や建設作業騒音等である。

その他、水質汚濁の苦情では、河川の濁りや工場からの有色の排水等が見られた。

